

各位

上場会社名 FDK株式会社
 代表者 代表取締役社長 望月 道正
 (コード番号 6955)
 問合せ先責任者 広報・IR室長 芥川 淳
 (TEL 03-3434-1271)

平成24年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、平成23年5月30日に開示した業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	44,500	500	450	400	1.84
今回修正予想(B)	41,836	251	△76	△134	△0.62
増減額(B-A)	△2,664	△249	△526	△534	
増減率(%)	△6.0	△49.8	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	49,793	2,971	2,648	1,112	5.12

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	95,000	2,500	2,550	2,600	11.97
今回修正予想(B)	86,500	500	100	200	0.92
増減額(B-A)	△8,500	△2,000	△2,450	△2,400	
増減率(%)	△8.9	△80.0	△96.1	△92.3	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	94,431	4,396	4,135	2,571	11.83

修正の理由

平成24年3月期第2四半期連結業績予想につきましては、売上高は、世界的な液晶パネルメーカーの生産調整の長期化により、液晶ディスプレイ用信号処理モジュールが伸び悩み、前回予想を下回る見込みです。
 損益面につきましては、電池の材料であるレアアースなどの価格高騰による利益率低下、円高の進行の影響、液晶ディスプレイ用信号処理モジュールの売上減などにより、営業利益が大幅に悪化する見込みです。

平成24年3月期の通期連結業績予想につきましては、売上高は、液晶ディスプレイ用信号処理モジュールが引き続き伸び悩み見込みであるとともに、欧州の金融不安や米国経済の停滞の懸念も拭えないことから受注減が予想され、前回予想を下回る見込みです。

損益面につきましては、レアアースなどの原材料価格の高騰による利益率低下、円高の影響、液晶ディスプレイ用信号処理モジュールの売上減などにより、営業利益が大幅に悪化する見込みです。

平成24年3月期の予想につきましては、現時点で上記のように厳しい状況になる見込みですが、今後、業績改善に向け、さらに努力してまいります。

また、来期以降に向けた取り組みといたしましては、世界最高性能に匹敵する新アルカリ乾電池の発売やカード向け薄形電池の量産、産業用バックアップ蓄電モジュールの商品化などを予定しております。

当社グループといたしましては、中期経営計画「START10」で掲げた3E社会の実現に向けた取り組みを推進中でありますが、再生可能エネルギーの導入とスマートグリッドによる需要制御を核とした次世代エネルギー・社会システム「スマートコミュニティ」の高まりにより、それらの開発は加速しながら進めております。

また、自動車の緊急通報用のアプリケーションとして注目を集めておりますe-Callシステム向けの電池の開発、電子部品事業におきましては、当社グループの強みであるフェライトをさらに強化するため、山陽工場での生産開始の準備を進めております。

当社グループといたしましては、今後の社会が必要とする新しい分野へも積極的に取り組み、業績改善と事業拡大を目指してまいります。

(注意事項)

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、今後様々な要因により、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合があることをご承知おきください。

以上